



1. 志布志港について

志布志港の概要

九州東南部の太平洋に面した 地理的優位性

背後地域は国内有数の農林水産物の一大生産地





志布志港の概要



志布志港の周辺状況



国内定期航路

船社	航路	寄港地	船名	トン数	便数 (志布志港寄港曜日)
(株)商船三井さんふらわあ	大阪航路 大阪南~ 志布志		さんふらわあさつま	13,659	7 便/週(毎日)
(フェリー)			さんふらわあきりしま	13,659	/ 使/ 迥(毋口)
	市方, 油细岭攻	東京~(名古屋)~油津~	琉球エクスプレス 3	10,034	東京行2便/週(不定)
マルエーフェリー(株)	東京・沖縄航路・ス	志布志 ~那覇	琉球エクスプレス 7	13,631	631 沖縄行1便/週(不定)
(RORO船)	阪神·沖縄航路	大阪〜 志布志 〜名瀬〜 那覇	琉球エクスプレス 2	10,758	大阪行2便/週(火,金)
	以个中"八中和电测100台	大阪~神戸~ 志布志 ~ 那覇	琉球エクスプレス 5	10,034	沖縄行2便/週(日,木)
南日本汽船(株) (貨物船)	沖縄航路	志布志 ~鹿児島~中城湾	りゅうなんⅡ 第三オーナミ	498	沖縄行1便/週(火)

※R6.9現在





神戸 大阪 油津 志布志

A"LINE

名瀬

那覇

海上輸送へのモーダルシフトによる環境負荷低減や ドライバーの時間外労働時間の上限規制への対応

外貿コンテナ定期航路

航路	船社	船種	便数
台湾航路	愛媛オーシャンライン(株)	コンテナ船	1便/週(月)
	長錦商船(株)	コンテナ船	1 便/週(月)
韓国航路	東亜ライン(株)	コンテナ船	1 便/週(木)
群 国 加 岭	C M A C G M	コンテナ船	1 便/週(火)
	高麗海運(株)	コンテナ船	1 便/週(月)
中国航路	神原汽船(株)	コンテナ船	2 便/週(水,木)
国際フィーダー航路	井本商運(株)/OOCL	コンテナ船	1 便/週(土)
四际/1-% - 机岭	井本商運(株)	一般貨物船	1 便/週(土)

神戸, 釜山等での トランシップにより, 世界各国との輸送が可能





出典:(上)愛媛オーシャンラインHP(下)井本商運HP



中東・ 東南アジアへ 豪州へ

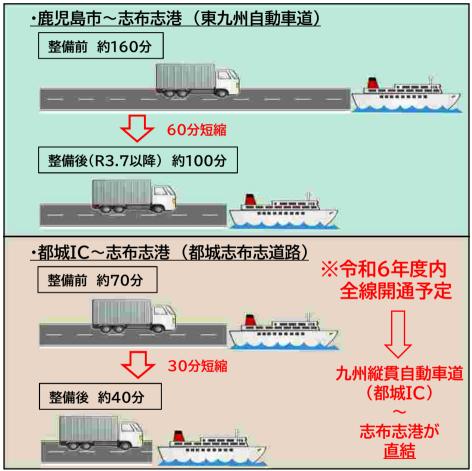
国際コンテナターミナル(新若浜地区)



志布志港周辺の状況(高規格道路の整備)



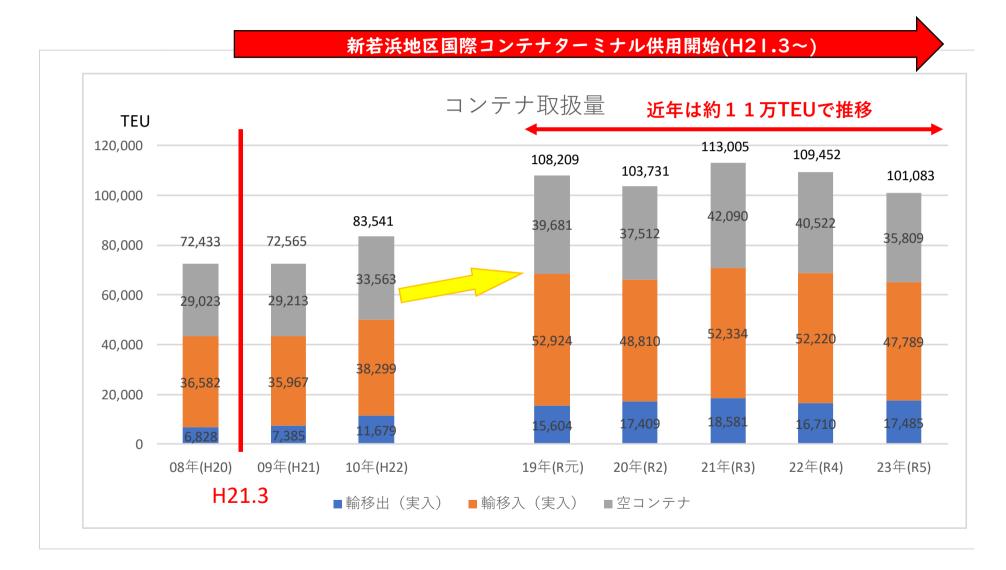
主要区間の所要時間



周辺交通ネットワークの整備が進み、志布志港へのアクセス性が向上モーダルシフトの進展や温室効果ガスの削減に寄与

2. 輸出入促進について

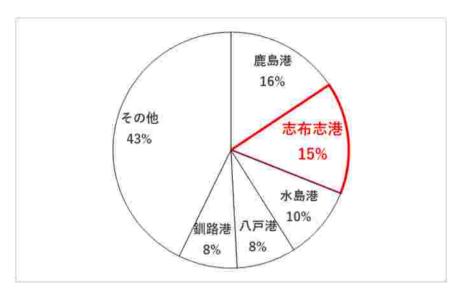
コンテナ取扱量



コンテナターミナル取扱量は九州第4位(博多,北九州,鹿児島に次ぐ)

とうもろこしの輸入(配合飼料原料)

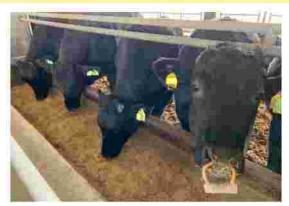
■とうもろこし輸入量の全国シェア(R4)



出典■貿易統計

■配合・混合飼料の生産量・全国シェア(R4)

順位	都道府県名	生産量(チトン)	全国シェア
1位	鹿児島県	4,223	17.6%
	うち志布志	2,744	11.4%
2位	茨城県	4,088	17.0%
3位	北海道	4,036	16.8%
	全国	24,055	100.0%



肉用牛(黒毛和種)生産量全国1位



豚 生産量全国1位



ブロイラー 生産量全国1位

原木取扱量

原木輸出量は14年連続日本一(H22~)









背後地に豊富な森林資源を有し、 志布志港からの令和5年の原木輸出量は約40万㎡で全国1位

食の宝箱(背後圏は国内有数の農林水産物の生産地)

全国の優秀な和牛を一堂に集め 改良成果を競う、5年に1度開催 R4.10月鹿児島で開催

前回大会に続き 鹿児島が「和牛日本一」

























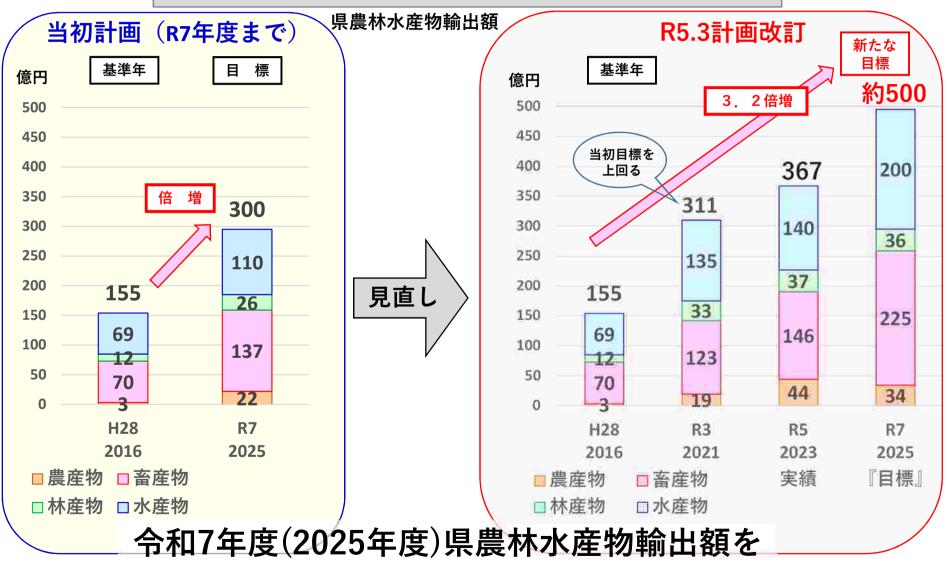






県産農林水産物の輸出

鹿児島県 農林水産物輸出促進ビジョン



300億円から500億円に見直し

志布志港から農林水産物・食品輸出促進(産直港湾『志布志港』の取組) 13

- ◆ 志布志港では、背後地域が農林水産物の一大生産地となっているポテンシャルを最大限発揮させるため、国 土交通省と農林水産省が連携して取組を進める「産直港湾」制度を活用し、農林水産物・食品の輸出促進に 取り組んでいます。
- ◆ 全国で3港目の産直港湾として、大口ット輸出産地の形成に向けた輸出環境の強化を図るべく、新若浜地区 国際コンテナターミナル内の公共上屋に温度・衛生管理が可能な荷捌き施設(冷凍・冷蔵倉庫/ドックシェ ルター等)を新たに整備することとしています。

"産直港湾"制度

港湾やその近傍で不足している輸出機能を強化すること を目的として、港湾管理者などから申請された「農林水産 物・食品輸出促進計画 | が国に認定されることによって、 同計画に定められた小口貨物等の積替円滑化施設やリー ファーコンテナ電源供給施設の整備への支援等を受けられ

"農林水産物・食品輸出促進計画"の概要

「主な対象品目〕

主な品目	産地
【畜産物】牛肉,豚肉,鶏肉等 【農産物】キャベツ,大根,柑橘類,お茶類 【林産品】製材,合板等 【水産品】養殖ブリ・カンパチ等 【その他】加工食品(味噌,醤油,焼酎等)	鹿児島県 及び隣県

「ターゲット】 アメリカ、香港、中国、台湾 等

[目標]

志布志港における農林水産物・食品の輸出額

令和3年 (2021年) 実績額:2Ⅰ億円 約1.7倍

令和12年 (2030年)

実續額:36億円





▲▼今後、公共上屋内に整備予定の 冷凍・冷蔵倉庫のイメージ





産直港湾「志布志港」

助成金について(トライアル事業)



近隣港湾利用によるリスク分散

陸上輸送コストの削減

モーダルシフトによるグリーン物流

トラックドライバー不足への対応

県内港湾(志布志港・川内港)の更なる利用促進を図るため、荷主企業の皆様が志布志港や川内港を利用して輸出入を行う際、コストやリードタイムの検証などの運送実験に係る経費の一部を補助します。

補助対象	対象経費	補助率	上限額
荷主企業	海上輸送費, 国内陸上輸送費, 国内荷役料, 梱包料, 輸出入諸経費	1/2 以内	1事業者につき 輸出:150万円 輸入: 75万円

3. 長期構想について

長期構想とは・・・

○概ね20年から30年先の総合的な港湾空間の 形成とあり方を構想・ビジョンとして取りまとめ

【背景・課題・社会情勢の変化】

前回の志布志港港湾計画の改訂(平成5年)以降・・・

- ○船舶の大型化
- ○原木取扱量の増加
- ○東九州自動車道等の交通ネットワーク整備の進展
- ○賑わい空間の創出(市街地との回遊性) など

これら課題等に対応するため・・

志布志港長期構想を策定中

基本戦略及び取組方針

○「志布志港の目指す姿」の実現に向け、「I.物流・産業」、「II.人流・賑わい」、「II.安全・安心」、「IV.環境・エネルギー」の視点から基本戦略を定め、基本戦略の実行に向けた取組方針を設定した。

長期構想の基本理念

地域のポテンシャルと稼ぐ力を引き出す、世界に開かれた"志"あふれる 志布志港

目指す姿

I.物流·産業

「国内外とつながり、 地域の経済と暮らし を支えるみなと」

基本戦略

県内及び南九州地域の 安定的な物流や産業の 発展を支える海上輸送 拠点の形成

Ⅱ.人流・賑わい

「人と人がつながり、 魅力や賑わいに あふれるみなと」 背後地域の観光振興を 支える交流・賑わい 拠点の形成

Ⅲ.安全•安心

「住民や企業活動の 安全・安心を支える 強靭なみなと」

IV.環境・エネルギー

「サステナブルな社会の 実現をリードする環境 にやさしいみなと」 災害対応力の向上による

灰舌対応力の向工による 安全かつ安定した 港湾機能の提供

背後地域の脱炭素化を 先導するカーボンニュー トラルポートの形成

取組方針

- ・農林水産物・食品輸出等の需要増大に対応した環境整備
- ・モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化
- ・穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成
- ・港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用
- ・地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成
- ・賑わいと活気のある観光振興の推進
- ・大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現
- ・津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現
- ・既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持
- ・脱炭素社会の実現に向けた港湾空間の形成
- ・臨海部産業における脱炭素化の実現、次世代エネルギー受入環境の創出
- ・地域の魅力や個性を創出する港湾景観の形成

施策 I - ① 国際コンテナターミナルの機能強化

背景・課題	・コンテナ取扱量の増大によるターミナル面積の不足の解消 ・今後需要が期待される農林水産物・食品輸出の増加		
施策内容	・コンテナ蔵置のための用地不足解消のため、コンテナターミナルの拡張を図る ・農林水産物・食品の輸出拡大のため、既存上屋を改修し冷凍・冷蔵施設等の整備を図る		



コンテナターミナル内の既存上屋



既存上屋の改修のイメージ



施策 I - ④ バルク貨物 (林産品) ターミナルの形成

背景・	課題	・原木輸出需要増大に伴うヤード面積の不足への対応 ・コンテナによる原木輸出の横持ち解消		
施策	内容	・点在する原木ヤードを集約するため、新若浜地区に新たにバルク貨物(林産品)ターミナルを整備する ・持続可能な林産品輸送体制の構築を検討する		

林産品ターミナルのイメージ



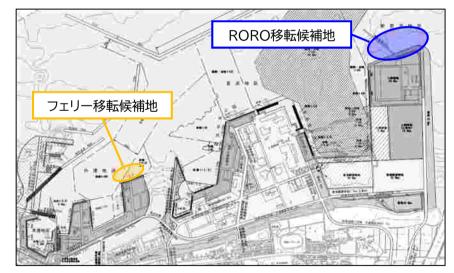


施策 I - ⑤ 次世代高規格ユニットロードターミナルの形成

背景・課題	・船舶大型化、フェリー・RORO貨物需要の増大、物流の2024年問題による陸送貨物のモーダルシフトへ対応 ・冷蔵・冷凍電源設備の不足への対応
施策内容	・外港地区にフェリー機能を移転 ・新若浜地区にRORO機能を移転 ・モーダルシフトを促進する次世代高規格ユニットロードターミナルの形成を図る

フェリー・RORO機能の移転候補地

次世代高規格ユニットロードターミナルのイメージ





出典:国土交通省HP「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会中間とりまとめ」

施策Ⅱ-③ クルーズ船の受入環境整備

・本格的な国際クルーズの受入再開 背景・課題 ・大型クルーズ船需要への対応

施策内容

- ・中小型クルーズ船は若浜地区旅客船ふ頭、大型クルーズ船は外港地区防波堤沖側での受入を図る
- ・ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境を整備するとともに、積極的な寄港誘致に努める
- ・寄港地観光として大隅地域の魅力を楽しめるよう地域資源を活用したツアーメニューの造成に取り組む

「にっぽん丸」寄港時の様子(令和4年11月)









志布志港周辺の観光資源・イベント









<u>施策Ⅲ-① 災害に強い港湾施設・輸送網の形成</u>

背景・課題

- ・耐震強化岸壁は、緊急物資輸送用として若浜地区に1バース整備されているものの、幹線貨物輸送用の 耐震強化岸壁が未整備
- ・大規模災害時の穀物等の幹線貨物輸送の拠点としての機能を確保

施策内容

- ・幹線貨物等の輸送拠点としての機能向上を図るため、耐震強化岸壁を整備する
- ・長周期波による港内水域への影響分析を行い、静穏度向上に向けた対策を検討

バルク岸壁(耐震強化岸壁)の整備

コンテナターミナルの耐震化

フェリー・ROROターミナルの耐震化



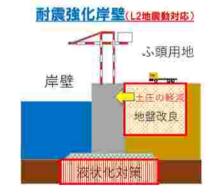




出典:国土交通省「第1回次世代高規格ユニットロード ターミナル検討会」(令和5年2月2日)

耐震強化岸壁整備による災害時の効果事例 (令和3年福島県沖を震源とする震度6強の地震)







出典:交通政策審議会港湾分科会第5回防災部会(令和5年6月)

施策IV-① 脱炭素化の推進に向けた港湾機能の高度化

背景・課題

- ・我が国では、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言
- ・鹿児島県は、2030年度までに温室効果ガスの排出量を46%(2013年度比)削減することを目標

施策内容

- ・公共ターミナル内の荷役機械の電化やFC化の導入・促進を図る
- ・停泊中の船舶への陸上給電設備を整備する
- ・公共ターミナルに出入りするトラック等のFC化を促進する環境整備を図る

荷役機械の水素燃料化

○ディーゼルエンジンで駆動する荷役機械を水素燃料電池(FC) へ転換し、CO2を削減。

トップハンドラー



▶ 豊田通商等がロサンゼルス港においてトップハンドラー等の荷役機器及びドレージトラックのFC化と超高圧水素充填車を用いた港湾水素モデルの実証事業を実施

出典:LA港湾局HP

ニアゼロRTGイメージ図



➤ 三井E&Sマシナリーが門型クレーン(RTG)のFC化に係る開発事業を実施

出典:三井E&SマシナリーHP

船舶への陸上電力供給

○港湾に停泊中の船舶は、船内のディーゼルエンジンから船内電源 を確保しているが、陸上電力供給へ転換し、船舶のアイドリング ストップによりCO2を削減。

陸上給電設備イメージ図



出典:TERASAKI陸上電力 供給システムカタログ



出典: 国土交通省資料 富士電機(株)

トラック等のFC化

FCトラック



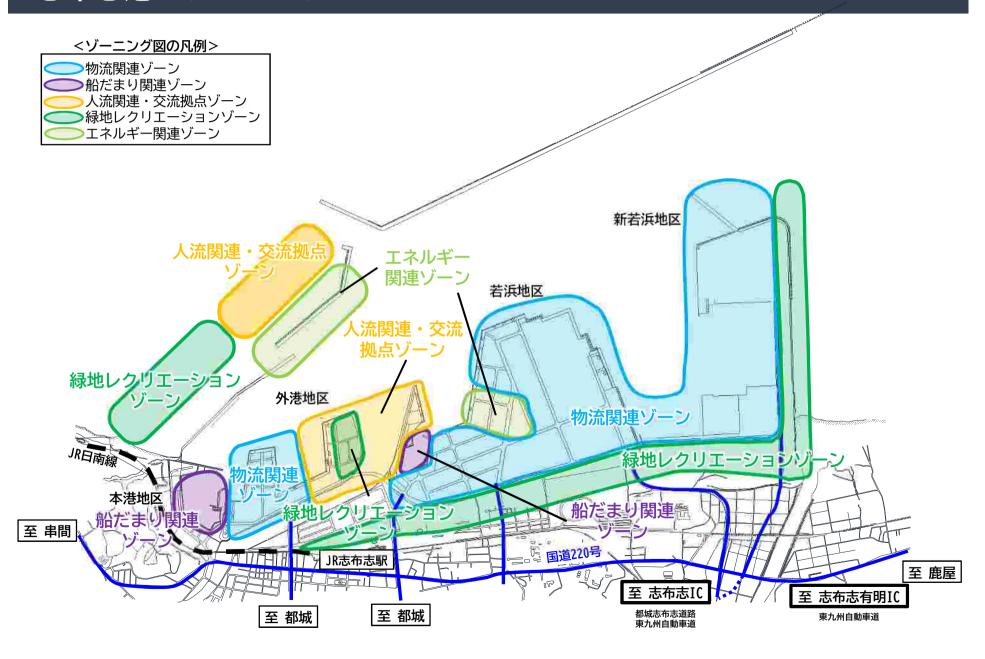
出典:国土交通省資料 トヨタ自動車出

商用水素ステーション



出典: 国土交通省資料 岩谷産業(株)

志布志港のゾーニング



ご清聴ありがとうございました。

